

菌類講座に参加して

安藤 洋子
yoko ann do

今年の東北は夏に気温が上がり、秋になってから暑い日が続くという異常気象でした。そのため、いつもなら多種多様のきのこが大量に発生する9月末になっても、林の中にはきのこが見当たらぬ日々が続いていました。・・東北にさえきのこが出ないのに、千葉にはきのこが出るのかしら、と半分心配しながら、でも、きのこが無くても本郷先生の菌類講座を聞くことができるのだから、と半分納得しながら東北自動車道を走ってきた私です。けれども、採集会・勉強会・菌類講座と参加して、その収穫の多いことに本当に驚き、また感激しました。

まず第一の収穫は私にとって新しいきのこに出会えたことです。東北と関東では発生するきのこはほとんど同じであろうと考えていたのですが、その考えが間違っていたことがよくわかりました。アカチャツエタケ・キビダカラカサタケ・クロラッパタケ、それに佐野さんたちのグループがついに見つけたトリュフなど、私にとっては図鑑でしか見たことの無いようなきのこがたくさん採集されて、しかもみなさんがあたりまえのように眺めているので、本当に驚いてしまいました。・・・でも、トリュフはさすがに千葉の人々にも珍しかったようですが・・。

第二の収穫はきのこを愛する多くの人々を知ることができたことです。仙台にも自称きのこ好きやきのこ違いはいますが、・・そして私もきのこ気違いの一人だと思っていたのですが、千葉でお会いした高橋さんや小林さんや大作さん、それに以前からお顔は知っていたのですが、池田さんや横山さんや吹春先生、そして名前を忘れてしまった何人かの人々、(きのこの名前はかろうじて覚えられるのですが、人の名前はすぐに忘れてしまうのです。すみません。・・でも、顔は覚えています。) たちは、正真正銘の、極めつけの、筋金入りの、比類の無いきのこ愛好家だと確信できました。こういう人たちが存在するのですから、私の存在も許されるに違いないと思えたのです。それに田中千尋さんや小田貴志さんなどの専門の先生にお会いすることもできました。そして Amanita や

DNAについてのお話をうかがうこともでき、とても勉強になりました。こうして、たくさんの先輩の方々から、これからもきのこに関わり続けていくための、たくさんの元気をいただくことができました。感謝感激です。

第三の収穫は、そしてこれが一番重要なことなのですが、やはり本郷先生の講座を聞くことができたことです。本郷先生の講座は何度か聞く機会を得ていたので、これがはじめてではありませんが、今回は特に菌類、主にハラタケ目の分類、きのこのスライドを見ながらの具体的な解説、本郷先生ご自身が付けられたきのこの学名についての由来など、お話は多岐にわたり、とても興味深いものでした。けれども、それにもまして、それらのお話を通じて流れている本郷先生のお人柄に、いつも感動と尊敬の念を禁じることができません。

実るほどに頭を垂れる稻穂かな・・知らないことを知らないと言える素晴らしい、きのこを愛し、きのこを愛する人を愛す慈愛の心、などなど、いつまでもお元気で私たちを導いていただきたいと心から思いました。

こんな素晴らしい千葉菌類談話会に入会することを許してくださいました吹春先生、いろいろ便宜をはかってくださいました佐野さんに感謝申し上げます。そして、私も足手まといにならないようにがんばりますので、これからも、ご指導をどうかよろしくお願い致します。



お餅を搗く本郷先生